

店舗名 **①** 居酒屋みえ

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記してください。  
 ※支給額の算定においては、テイクアウトやデリバリー等を除いた売上高を用いてください。

店舗ごとの協力金支給申請額計算書  
**(B区域)**

【新規開業店（開業後1年未満の場合（令和2年6月2日以降に新規開業））の特例】

開業日  
**①** **③** 令和3年1月1日

**②** **1** 第1期からの継続申請  
**2** 第2期からの継続申請  
 ↑該当する場合「1」を入力

開業日～令和3年5月31日※の売上高 **②** **④** 20,000,000 円 ÷ 開業日～令和3年5月31日※の日数 **③** 115 日 × 0.3 = 開業日～令和3年5月31日の1日当たり売上単価 **④** 52,174 円

※売上高等は全て**税抜き**で記入してください。

千円単位切上  
 当該店舗の売上単価  
**⑤** 53,000 円  
 【上限7.5万円 下限2.5万円】

当該店舗の売上単価 **⑤** 53,000 円 × 時短協力日数（20日） **⑥** **⑤** 20 日 = 当該店舗の支給額 **⑦** 1,060,000 円

※定休日・休業日も支給対象です。

上記内容で申請します

**⑥**

※第1期からの継続申請は4月25日、第2期からの継続申請は5月11日。

【新規開業店（時短営業の要請期間中（令和3年6月1日～令和3年6月20日）に新規開業）の特例】

当該店舗の売上単価 **①** (定額) 25,000 円 × 時短協力日数 **②** **⑦** 日 = 当該店舗の支給額 **③** 円

※定休日・休業日も支給対象です。

上記内容で申請します

※シートには保護がかかっており、色付きのセル及びチェック欄（）のみ入力可能です。

※のセルで「チェック」と入力して変換すると、がになります。

**①店舗名**  
 申請する店舗名を記入してください。

**②継続申請の場合のチェック欄**  
 第1期、第2期の時短期間を除いて売上高を計算します。継続申請の場合「1」を入力してください。

**③開業日**  
 開業日を入力してください。

**④開業日からの売上高**  
 第1期から継続の場合4/25、第2期から継続の場合5/11、それ以外の場合は5/31までの売上高を記入してください。

**⑤時短協力日数**  
 該当する場合「20」と記入してください。

**⑥内容チェック内容**  
 に間違いがなければを記入してください。

**⑦時短協力日数**  
 時短要請期間中に新規開業の場合、時短営業をした日数を記入してください。